

# 2009

# フォトギャラリー

大会が大きな事故もなく無事終了することができたのも、市民、学校、企業、団体などのボランティアの皆さまのおかげです。また、市民の皆さまには交通規制などによるご不便、ご迷惑をおかけいたしました。皆さまのご理解、ご協力のおかげで大会が開催できたことを心から感謝申し上げます。

さて、能登和倉万葉の里マラソンは市民マラソン大会です。自然がおりなす七尾湾の絶景をランナーに楽しみながら走ってもらい、フィニッシュ後は和倉の湯で疲れを癒やし、牡蠣フェスティバル会場で能登の食に触れていただくという3本柱で開催した大会です。七尾市が目指す「交流体感都市」をマラソン大会をとおして体感できるように努めたところです。昨年まで開催してきた「なかじま万葉の里マラソン」同様に牡蠣フェスティバルを開催し、参加者からはたいへんな好評をいただいております。これからも毎年3月第2日曜日に開催する予定です。益々のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

能登和倉万葉の里マラソン大会組織委員会一同



フルマラソンコース図



フルマラソン:号砲とともに怒涛のスタート!



フルマラソン男子の部優勝者の三輪真之さん(早稲田大学)

ゴール付近に必死の形相で走る中学生



お父さんもお母さんも子どもから目を離さずに、親子の部スタート!



フルマラソンで七尾市民トップ(男子の部2位)でゴールした津田純一さん(田鶴浜町)

フルマラソンのゴール直後に「手湯」のサービス



子どもは『ニコニコ』、お母さんは『クタクタ』



# 能登和倉万葉の里マラソン



ふるさと応援団の向田の雨乞い太鼓保存会



バナナのサービスに笑顔の選手



マラソン第1折返地点手前でのバナナのサービス



旗を片手に裸足で走る選手



余裕の笑顔で走る2人の選手



35km地点過ぎの光景



痛みをこらえ、足を伸ばす選手



鹿西高校野球部が選手に熱い応援をしながら選手とハイタッチ!



二人そろって「やった!ゴールだー!」



ゴール直後の選手:左の女性は足が痛くてたまらない表情、右の男性は放心状態



タレント松野明美さん(左)に走りながら取材を受ける選手